

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	観光課長 森 啓匡	
市民-18	大河ドラマ事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	大河ドラマ担当
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	観光課・生涯学習課
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-①観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

大河ドラマの放送に契機とした地域の活性化に取り組むため、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」鎌倉市推進協議会へ負担金を支出するとともに、事務局として事業の推進に努めた。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	大河ドラマ事業	大河ドラマ推進協議会負担金等	来館者数	315,011 / 500,000	0	63.0%	
				311,472 / 339,504	0		
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	271,969 / 339,504			
			一般財源	39,503 / 0			
			事業費の合計(千円)	311,472 / 339,504	0		
		人件費(千円)		31,684	0		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.0	0.0	4.0	0.0		
会計年度任用職員	0.0	0.0	1.0	0.0		

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	大河ドラマ事業	開館時に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が実施されていたこと(3月21日まで)や、春に天候不順が続いたこと、夏休みを前に新型コロナウイルス第7波が起きたことなどにより、来館者数は当初掲げた目標からすると伸び悩んだ。	協議会において、各団体と連携しながら、鎌倉の歴史・文化を発信するとともに、混雑対策など地域の課題を踏まえた観光振興に繋げるものである。	協議会事業を通じて得た新たな鎌倉観光の切り口を今後も活用していき、地域の活性化に務める。
02	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
令和4年1月から12月まで放送されたNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の終了により同事業も廃止し、令和5年度は協議会事務局として解散や精算事務等を実施する。経費は、観光振興支援事業(市民-13)に予算計上している。					

### 【参考】

#### ◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	来館者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
大河ドラマの放送を契機に、鎌倉の新たな魅力を発見してもらうことを目的としていることから、来館者数が指標として適当である。	目標値	—	—	500,000	—	—	—	
	実績値	—	—	315,011	—	—	—	
	達成率	—	—	63.0%	—	—	—	

#### ◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(令和3年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	6,565	13,357	5,616	589	4,208	23,431	11,995	13,500

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
----------------------	---